

科目名	精神保健学 II, 精神保健学特論 II [科目番号: 718212]		
学期	冬学期	単位数	2
曜日・授業時間帯	火曜日・5限		
場所	医学部・教育研究棟 13階 公共健康医学専攻講義室		
担当教員	島津明人、川上憲人、非常勤講師		
授業の目的	職場のメンタルヘルスの専門職として必要とされる知識・技術を、講義および事例研究とその後の討論によって習得することを目的とする。具体的には、制度・法規、利用者の状態および特性を踏まえた対応、関連職種間の連携、近年の社会経済情勢を踏まえた対策について学び、具体的な対策を現場で進めることのできる能力を養成する。		
授業の方法	各回1テーマの講義あるいは事例研究(ケーススタディ) 担当教員(または非常勤講師)による講義と全員での討論。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	10/4 1) コース概要, 産業精神保健総論(島津明人) 10/11 2) メンタル不調者対応の基本的な枠組み・専門職が留意すべきこと (難波克行) 10/18 3) 職域のメンタルヘルス専門職に求められる知識とスキル(小林由佳) 10/25 4) 日本におけるEAPの現状と今後の課題(永田頌史) 11/1 5) 外部のメンタルヘルスサービス機関をどのように選定するか? (森 晃爾) 11/8 6) 日本人の長時間労働について(小倉一哉) 11/15 7) グローバル経済下におけるメンタルヘルス対策とは: 外資系企業と日系企業におけるメンタルヘルス問題の比較から (神山昭男) 11/22 8) 仕事と家庭の両立の現状と政策的課題(松田茂樹) 11/29 9) 労働者を対象とした認知行動療法(下山晴彦) 12/6 10) 新型うつについて(有馬秀晃) 12/13 11) 労働者の復職支援プログラム(五十嵐良雄) 1/10 12) 中小規模事業所のメンタルヘルス対策と公的支援体制(森田哲也) 1/17 13) 医療従事者のメンタルヘルス: 大学病院における活性化対策 (金原明子) 1/24 14) これからの職場のメンタルヘルス(川上憲人)		
教科書・参考書等	川上憲人・堤明純(監修)「職場におけるメンタルヘルスのスペシャリストBOOK」培風館。その他、毎回、講義資料を配付する。		
成績評価の方法	出席、課題テーマに関する発表、質疑への参加、レポートにより総合的に評価する。		
他の授業との関連	精神保健疫学と対策の基礎について学ぶ「精神保健学I」を受講していることが望ましい。		